

# 18,カバノキ科の巨木 Betulaceae

■カバノキ科の巨木は以下に分類する。

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| A ヤシャブシ・オオバヤシャブシの巨木 | D イヌシデの巨木 |
| B ダケカンバの巨木          | E アカシデの巨木 |
| C ミズメの巨木            | F アサダの巨木  |

## 18-A ヤシャブシ・オオバヤシャブシの巨木 (夜叉五倍子) (大葉夜叉五倍子)

カバノキ科ハンノキ属 *Alnus firma* カバノキ科ハンノキ属 *Alnus sieboldiana*

※識別方法

ヤシャブシ・・・雌花序は雄花序の下に1～複数個付く。

オオバヤシャブシ・・・雌花序は雄花序の上に1個付く。

巨木分類では、両者は分類しない。

■ヤシャブシの巨木評価基準

B 幹周おおむね4m以上の単幹樹ヤシャブシの巨木。 C B評価以下のヤシャブシの巨木。

■全国の主なヤシャブシ・オオバヤシャブシの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	大野の大ヤシャ	3.85m	不明	埼玉県比企郡ときがわ町大野	なし
C	ハナノキ尾根のヤシャブシ	3.75m	20m	東京都西多摩郡奥多摩町日原	なし
C	鬼山のヤシャブシ	3.3m	7m	栃木県宇都宮市	市
C	平岡のヤシャブシ 写真 YS-001	3.2m	15m	山梨県南アルプス市平岡字深沢	市
C	豊島町のオオバヤシャブシ 写真 YS-002	約1m	7.6m	愛知県田原市神戸町大坪 273	町
C	千畳敷砲台のオオバヤシャブシ 写真 YS003	不明	不明	北海道函館市谷地頭町	なし



▲写真 YS-002  
とよしままち  
豊島町のオオバヤシャブシ  
(写真・Web画像)

▲写真 YS-003  
せんじょうじきほうだい  
千畳敷砲台のオオバヤシャブシ  
(写真・Web画像)

◀写真 YS-001  
ひらおか  
平岡のヤシャブシ  
根元で細い側幹が立上がるが、主幹は見事な単幹樹である。(写真・南アルプス市役所)

## ■カバノキ科の巨木位置図

●ヤシャブシの巨木 ★ダケカンバの巨木 ■ミズメの巨木 ◎イヌシデの巨木 ▲アカシデの巨木 ♥アサダの巨木



## 18-B ダケカンバ(岳樺)の巨木

カバノキ科カバノキ属 *Butula ermanii*

※高山や北地の山地に生える落葉高木。樹皮は灰褐色、淡褐色で、よく似たシラカバが白色である。ダケカンバの果穂は上向きで、葉に光沢があるのに対して、シラカバの果穂は垂れ、葉に光沢が無い。見慣れてくると、樹皮だけで特定できる。巨木分類では、近年ダケカンバの巨木の報告例が見られるようになったが、シラカバの巨木の報告例はあまりないので、今後の情報に期待することとする。巨木位置図は(カバノキ科の巨木位置図)に記載。日本一の選定はしたが、見事な単幹樹が発見されていないので、現在のところ全てC評価とした。

### ■主なダケカンバの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	檜形山のダケカンバ A 写真 D-001	M5.56m(分岐 1m 2008)	15m	山梨県南巨摩郡富士川町 檜形山尾根	なし
C	写真 D-002 B	M5.22m(分岐 1m 2008)	15m	〃	なし
C	写真 D-003 C	M5.93m(分岐 1m 2008)	15m	〃	なし
C	戸来岳のダケカンバ 写真 D-004	4.76m	8.5m	青森県三戸郡新郷村 戸来岳	なし
C	権現山のダケカンバ 写真 D-005	不明	不明	長野県伊那市 権現山尾根	なし



▲写真 D-001  
日本一のダケカンバ  
くしがたやま  
櫛形山のダケカンバ A  
標高 2000m 尾根に立つ。地上 1m 付近で 3 分岐する。



▲写真 D-002  
くしがたやま  
櫛形山のダケカンバ B  
A からしばらく登った登山道沿いに立つもの。



▲写真 D-003  
くしがたやま  
櫛形山のダケカンバ C  
B の近くの林の中に立つもので、A より数字が大きいが、樹形が悪い。



▲写真 D-004  
へらだけ  
戸米岳のダケカンバ  
地元では日本一のダケカンバと称している。(写真・Web 画像)



▲写真 D-005  
ごんげんやま  
権現山のダケカンバ  
地上 1m 付近で 2 分岐する。(写真・Web 画像)

## 18-C ミズメの巨木

カバノキ科カバノキ属 *Butula grossa*

※岩手県以西の山地に生える落葉高木。樹皮がサクラに似る事から、ミズメザクラの異名がある。山地では巨木になるものがあるが、認識度が低い樹木であるためか、巨木の報告例が少ない。本書では、データがほとんどないため、記録として記載するに留める。位置図は「カバノキ科の巨木位置図」に記載する。

### ■主なミズメの巨木

2015 年現在

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
	藤之石のミズメザクラ	4.04m	15m	愛媛県西条市藤之石	なし
	五色ヶ原のミズメ 写真 M-001	不明	不明	岐阜県高山市丹生川町久手	なし
	玉原高原のミズメ 写真 M-002	不明	不明	群馬県沼田市 玉原高原	市指定



写真 M-001  
ごしがはら  
五色ヶ原のミズメ



写真 M-002  
たまはらこうげん  
玉原高原のミズメ

# 18-D イヌシデ(犬四手)の巨木

カバノキ科クマシデ属 *Carpinus tschonoskii*

※岩手県以西の山地に生える落葉高木。近似種にアカシデ、クマシデ等があり、果穂に違いが見られ識別できる。巨木位置図は「カバノキ科の巨木位置図」に記載。



イヌシデの果穂



アカシデの果穂  
果苞に裂片がある。



クマシデの果穂

(写真・Web 画像)

## ■イヌシデの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 4.5m 以上の単幹樹、同等評価のイヌシデの巨木。又は、奇形樹の群生。  
 B 幹周おおむね 3.5～4.5m の単幹樹、同等評価のイヌシデの巨木。 C B 評価以下のイヌシデの巨木。

## ■主なイヌシデの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	天狗シデ(最大株) 写真 E-001	3.1m	12m	広島県山県郡北広島町田原字灰谷	国
A	千種街道の大シデ 写真 E-002	M4.61m(1.3m 2015)	20m	滋賀県東近江市甲津畑町	町
B	天満神社のイヌシデ 写真 E-003	4.0m	20m	岡山県高梁市備中町西油野北方	なし
B	小熊八幡神社のイヌシデ 写真 E-004	M3.83m(1.3m 2015)	21m	石川県河北郡津幡町小熊	なし
C	権現峠のイヌシデ 写真 E-005	3.7m	20m	広島県庄原市東城町保田	なし
C	久谷八幡神社のイヌシデ 写真 E-006	3.55m	不明	兵庫県美方郡新温泉町久谷	県
C	ヤケゴヤのイヌシデ	3.1m	20m	東京都西多摩郡奥多摩町日原	なし
C	普門寺のイヌシデ	1.7m	17m	愛知県豊橋市雲谷町字ナベ山下	なし



写真 E-001

### てんぐ 天狗シデ

熊城山の東斜面に群生する 100 本程のイヌシデで、奇怪な樹形をしている。巨木ではないが、突然変異の個体が代々受継がれて群生をなす生態が珍しく、国指定になっている。(写真 Web 画像)



写真 E-002

日本一のイヌシデ

ちぐさかいどう

千種街道の大シデ

蓮如上人も歩いたと言われる古道で、甲津畑から杉峠を越えて三重県の千種に至る旧街道途中に立つイヌシデの巨木。樹形、風格、立地共に素晴らしく、日本一に選定された。



写真 E-003

てんまんじんじや

天満神社のイヌシデ

成羽天神山山頂にある天満神社拜殿真横に立つ。(写真・Web画像)



写真 E-004

こんまはちまん

小熊八幡神社のイヌシデ

小熊八幡神社境内に立つイヌシデの巨木。根元から2m程主幹は空洞化して、老木の風格がある。

▼写真 E-005

ごんげんとうげ

権現峠のイヌシデ

県道57号線沿い、ガードレールの際に立つ。(写真・「広島県の大樹」)

▼写真 E-006

くたにはちまんぐう

久谷八幡宮のイヌシデ

(写真・Web画像)



# 18-E アカシデ(赤四手)の巨木

カバノキ科クマシデ属 *Carpinus laxiflora*

※全国の山野に生える落葉高木。山野においては薪炭材として伐採される運命にあるが、稀に巨木に成長するものがあり、民俗学の観点から注目される。シダレアカシデは突然変異で、山中で発見されたものを猷木したといわれている。シダレカツラと同じで、巨木になったものは非常に珍しい。巨木評価基準はイヌシデの評価基準に準ずる。

## ■主なアカシデの巨木

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

2015年現在

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	川谷つつじ公園のアカシデ 写真 A-001	M4.29m(1.3m 2012)	15m	長野県長野市豊野町川谷 富士社	市
C	黒森山のアカシデ 写真 A-002	3.38m	14m	青森県黒石市南中野字箱ヶ沢	なし
C	大宮公園のアカシデ 写真 A-003	3.2m	15m	埼玉県さいたま市大宮区高鼻町	なし
C	蓬田岳のアカシデ 写真 A-004	3.0m	15m	福島県石川郡平田村	なし
A	幸神社のシダレアカシデ 写真 A-005	2.0m	5m	東京都西多摩郡日の出町大久野	国
B	成就院のシダレアカシデ 写真 A-006	0.9m	6.5m	栃木県鹿沼市楡木町	県



写真 A-001 日本一のアカシデ

### かわたに 川谷つつじ公園のアカシデ

富士社の右手から山道をつつじの古木の間を縫うように登る事50m、斜面に立つ。2.5mで3分岐し、谷川の2本は水平に幹を伸ばして、見事な樹形を呈している。樹勢に衰えはなく、縦に波打つ樹肌は風格充分のアカシデである。



写真 A-003  
おおみやこうえん  
大宮公園のアカシデ

主幹が波打ち見事な古木で、公園のシンボリック的存在になっている。(写真・Web画像)



写真 A-002

### くろもりやま 黒森山のアカシデ

地元では日本一のアカシデと称している。その根拠は幹周4.69mで、主幹3.38mと根元から出ている2本の側幹の合計周との事。

M式では、根元分岐型樹形の場合、株周として取扱うが、この場合、主幹の割合が大きいため、根元の細い幹は無視してよいレベルと判断する。

(写真・Web画像)



写真 A-004▶

### よもぎだけ 蓬田岳のアカシデ

蓬田岳は標高952mの阿武隈山地の秀峰で、平田富士とも呼ばれる。登山道途中にある。

(写真・Web画像)



写真 A-005

さちがみじんじゃ  
幸神神社のシダレアカシデ

シダレアカシデは山中で発見された突然変異の原木を神社境内に献木したと伝えられる。シダレカツラ同様に巨木になったものは大変貴重な存在である。(写真・Web 画像)



写真 A-006

成就院のシダレアカシデ

この木は2代目で、初代は200程前に榎木で発見され、珍木であるため成就院に献木されたが、昭和初期に枯死した。この木は昭和8年に横根山で発見され献木されたもの。(写真・Web 画像)

# 18-F アサダの巨木

カバノキ科アサダ属 *Ostrya japonica*

※全国の山地に生える落葉高木。幹は特徴的で、長い鱗片となって剥げ落ちる。果穂は垂れ下がり、袋状になって種子を抱く。巨木の報告例は少ない。巨木評価基準は、イヌシデの巨木評価基準に準ずる。

## ■主なアサダの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	柳沢家のアサダ 写真 AS-001	4.3m	22m	青森県三戸郡階上町角柄折柳平	なし
C	吾妻溪谷のアサダ 写真 AS-002	不明	不明	群馬県吾妻郡東吾妻町長野原町	なし



写真 AS-001

やなぎさわげ  
柳沢家のアサダ

柳沢家の敷地内に立つ。アサダの巨木の報告例は少なく貴重である。(写真・石田徹)



写真 AS-002

あずまけいこく  
吾妻溪谷のアサダ

(写真・Web 画像)